

〔13〕 田辺市立美術館



【田辺市立美術館】

世界遺産登録 20 周年記念小企画展「熊野の風景」



【熊野古道なかへち美術館】

世界遺産登録 20 周年記念特別展「仙境 南画の聖地、ここにあり」
ワークショップ「粘土で山水画をつくろう」松平莉奈（画家）

1. 活動方針

田辺市立美術館（本館）及び熊野古道なかへち美術館（分館）は、田辺・紀南地方の文化の拠点として、子供から高齢者までのあらゆる世代の市民に対し、貴重な美術品を所蔵・公開して美術に親しむ機会と学びの場を提供する。

特別展や館蔵品展の開催、講演会やワークショップ等の実施によって、美術への関心を高める取組を進めるとともに、学校との連携によって、子供の頃から芸術文化への理解を育めるよう努めることで、美術の振興を図り、教育及び文化の向上を目指す。

【1】調査研究の充実と成果の公表

学術と文化の継承・発展等に寄与するため、美術作品や関連する資料の調査研究を行い、その成果を公表するとともに、展覧会、教育普及活動、作品・資料の収集、保存修復に反映させる。

【2】魅力ある展覧会の開催

市民に国内の近世及び近現代美術や和歌山県にゆかりのある優れた作品等を鑑賞する機会を提供するため、魅力ある特別展等を開催する。

- (1) コレクションの軸になっている日本の文人画と近代絵画を館蔵品展や小企画展で紹介する。
また、収蔵している作品（作家）や和歌山県にゆかりのある作品（作家）に関連する特別展を開催する。
- (2) 特別展の開催に合わせて展覧会図録や記録集などを刊行する。
- (3) ポスター及びチラシ等の広報印刷物、ホームページ、SNSを通じて、展覧会や関連事業の積極的な情報発信を行う。

【3】教育普及活動の推進充実

美術館及び館外において、講演会、ワークショップ、講座等を開催するなど、教育普及活動の推進充実に努める。

- (1) 展覧会関連事業として、講演会、アーティストトーク、展示解説会、コンサート等を開催する。
- (2) 美術に親しむ機会と学びの場を提供するため、ワークショップを開催する。
- (3) 学校と連携を図りながら、課外活動の受入や講座を開催する。
- (4) 美術館年報、広報紙（ORANGE）を発行する。

【4】美術作品、資料等の収集の拡充

開館当初からのコレクションを軸に、美術作品や資料等の収集を積極的に行い、体系的なコレクションの形成に努める。

- (1) 美術作品収集方針に基づき、購入による収集を図るとともに、寄贈及び寄託作品を積極的に受け入れる。
- (2) 購入、寄贈、寄託作品に関連する資料等を収集する。

【5】収蔵作品、資料等の保存修復及び保存環境の整備

貴重な文化遺産を良好な状態で次世代に引き継ぐため、収集した作品や資料の保存修復に努める。

- (1) 適切な保存環境を維持するため、温湿度や照明の管理を行う。
- (2) 美術作品や資料の虫菌害を防ぐため、環境調査やシロアリ防除作業を行う。また、必要に応じて燻蒸作業を行う。
- (3) 傷みが顕著な所蔵作品を優先し、修復作業を行う。
- (4) 非常時及び災害時における対策の指針を定めるとともに、非常時等に備えて訓練を行う。
- (5) 老朽化が進んでいる本館の長寿命化を図るため、電気設備及び機械設備等の改修を行う。

2. 令和7年度事業概要

【1】展覧会事業

田辺市立美術館(本館)と熊野古道なかへち美術館(分館)では、田辺市20周年を記念とする特別展を開催する。

田辺市立美術館

展覧会名	種別	開催期間	開催日数
田辺市20周年記念特別展 生誕120年 村井正誠－画家にして版画家－ 河野愛 灯台へ、	特別展	令和7年4月12日 ～6月8日	49日間

熊野古道なかへち美術館

展覧会名	種別	開催期間	開催日数
田辺市20周年記念特別展 河野愛 灯台へ、	特別展	令和7年4月12日 ～6月8日	49日間

※令和7年6月9日から令和8年9月末(予定)まで設備改修工事等のため、本館・分館ともに長期休館

【2】教育・普及事業

- ・アーティストトーク、展示解説会等の開催
- ・学校教育との連携(課外活動の受入等)
- ・展覧会記録集、年報・紀要、広報紙等の刊行

【3】収集・保存事業

- ・美術作品及び図書等の収集
- ・所蔵作品、資料等の保存・修復
- ・シロアリ防除作業及び燻蒸作業

【4】管理運営

- ・田辺市立美術館改修工事(受変電設備、自家発電設備、空調機、熱源機器、受水槽の更新等)
- ・田辺市立美術館LED照明器具改修工事及び展示室壁面修繕等
- ・施設及び設備の維持管理
- ・研修会等への参加(全国美術館会議総会、小規模館研究部会等)

3. 令和6年度事業報告

【1】展覧会の来館者数

田辺市立美術館

展覧会名		開催期間	開催日数	来館者数
1	世界遺産登録20周年記念小企画展 熊野の風景	令和6年4月13日 ～6月16日	56日間	2,329人
2	小企画展 織の表現2024	令和6年7月6日 ～9月16日	63日間	1,091人
3	世界遺産登録20周年記念特別展 仙境 南画の聖地、ここにあり ※和歌山県立近代美術館との共催	令和6年10月5日 ～11月24日	44日間	1,360人
4	館蔵品展 近代洋画コレクション展	令和6年12月7日 ～令和7年1月26日	37日間	682人
5	館蔵品展 文人の系譜—つたえる、あるく、つながる—	令和7年2月8日 ～3月23日	36日間	586人
年間合計			236日間	6,048人

熊野古道なかへち美術館

展覧会名		開催期間	開催日数	来館者数
1	特別展 Tomonari Hashimoto Untitled	令和6年4月13日 ～6月16日	56日間	1,238人
2	特別展 現代の織Ⅶ 佐久間美智子	令和6年7月6日 ～9月16日	63日間	1,032人
3	世界遺産登録20周年記念特別展 仙境 南画の聖地、ここにあり ※和歌山県立近代美術館との共催	令和6年10月5日 ～11月24日	44日間	1,421人
ワークショップと発表 くまびで作ろう！③河野愛 ※和歌山県立近代美術館との共催		令和7年3月20日 3月23日～30日	9日間	180人
年間合計			172日間	3,871人

【2】講演会・アーティストトーク等の開催状況

田辺市立美術館

展覧会名・アーティストトーク等	講師	日時
「熊野の風景」 展示解説会	当館学芸員	令和6年 5月18日(土) 6月 1日(土)
「織の表現2024」 展示解説会	当館学芸員	令和6年 8月 3日(土) 8月24日(土)
「仙境 南画の聖地、ここにあり」 展示解説会	当館学芸員	令和6年10月12日(土) 11月 9日(土)
「近代洋画コレクション展」 展示解説会	当館学芸員	令和6年12月21日(土) 令和7年 1月18日(土)
「文人の系譜—つたえる、あるく、つながる—」 展示解説会	当館学芸員	令和7年 2月22日(土) 3月15日(土)

熊野古道なかへち美術館

展覧会名・アーティストトーク等	講師	日時
「Tomonari Hashimoto Untitled」 アーティストトーク	橋本 知成(陶芸家)	令和6年 5月25日(土) 6月 8日(土)
「現代の織Ⅶ 佐久間美智子」 アーティストトーク	佐久間美智子(織作家)	令和6年 7月27日(土) 8月17日(土)
「仙境 南画の聖地、ここにあり」 展示解説会	当館学芸員	令和6年10月14日(月・祝) 11月23日(土・祝)
「仙境 南画の聖地、ここにあり」 ワークショップ「粘土で山水画をつくろう」	松平 莉奈(画家)	令和6年10月20日(日)

【3】学校教育との連携

（1）課外活動の受入

田辺市立美術館

日 時	学 校 名	児童生徒人数	教師等人数
令和6年 5月 2日(木)	新庄小学校 6年生	22人	3人
7月30日(火)	中芳養中学校 文化部	5人	2人
	末広児童館 4～6年生	7人	2人
10月23日(水)	新庄第二小学校 美術クラブ	7人	2人
11月 1日(金)	中芳養中学校 1・2年生	44人	4人
11月10日(日)	新庄第二小学校 新二まつり	8人	16人
11月20日(水)	新庄第二小学校 美術クラブ	7人	1人
令和7年 2月26日(水)		7人	2人

熊野古道なかへち美術館

日 時	学 校 名	児童生徒人数	教師等人数
令和6年6月8日(土)	神島高等学校 美術部	4人	1人
7月17日(水)	近野中学校	3人	2人

（2）学校との連携

- ・新庄第二小学校（校区の文化祭）への協力 令和6年11月10日
- ・中芳養中学校の1年生美術授業への協力 令和7年 1月17日・1月31日
- ・新庄第二小学校美術クラブへ協力し、美術館講座や作品鑑賞会を6回開催

（3）実習生等の受入

- ・和歌山県立みはま支援学校高等部2年生の職場体験実習 令和7年1月21日・1月22日

【4】展覧会図録等、年報、広報紙の刊行

（1）展覧会図録等

- ・特別展「Tomonari Hashimoto Untitled」記録集
- ・特別展「現代の織Ⅶ 佐久間美智子」図録
- ・特別展「仙境 南画の聖地、ここにあり」図録

（2）年報

- ・田辺市立美術館年報 第16号・紀要 第1号（令和5年度）

（3）広報紙

- ・田辺市立美術館NEWS『ORANGE』 Vol.40・Vol.41

【5】作品の収集

（1）購入

分 類	作 者	作品名
彫刻・工芸	佐久間美智子	B r e a t h i n g - V
パステル画・鉛筆画	妻木 良三	Z O N E I

（2）寄贈

分 類	作 者	作品名	
書	野長瀬晩花	短歌屏風	
油彩画	原 勝四郎	風景	
油彩画	野田 裕示	W O R K 33	W O R K 52
		W O R K 80	W O R K 81
		W O R K 83	
南画	渡瀬 凌雲	四季山水図（春）	四季山水図（夏）
		四季山水図（秋）	四季山水図（冬）
彫刻・工芸	佐久間美智子	大地への回帰-I	S u b l i m a t i o n - I
		B r e a t h i n g - I - 1	B r e a t h i n g - I - 2
パステル画・鉛筆画	妻木 良三	始景Ⅱ	

【6】収蔵作品の貸出し

貸出作品	分類	貸出先・展覧会名
奥村厚一 《清光》《北岬》	寄託品	京都市京セラ美術館 没後 50 年 生誕 120 年「奥村厚一 光の風景画家展」 令和 6 年 7 月 19 日～9 月 8 日
中村彝 《帽子を被る少女》	所蔵品	中村屋サロン美術館 開館 10 周年記念展「中村屋の中村彝」 令和 6 年 8 月 28 日～11 月 4 日
		茨城県近代美術館 没後 100 年「中村彝展-アトリエから世界へ-」 令和 6 年 11 月 10 日～令和 7 年 1 月 13 日
渡瀬凌雲 《魚磯(湯浅所見)》《仙境熊野》 祇園南海 《五老峰図》 桑山玉洲 《玉津島興崩図》《那智瀑布図》	所蔵品	和歌山県立近代美術館 特別展 「仙境 南画の聖地、ここにあり」 令和 6 年 10 月 5 日～11 月 24 日
桑山玉洲 《雪山唸客図》 玉村方久斗 《高野山玉川》	寄託品	
草間喆雄 《Dawn》《Koto-L》	所蔵品	（公財）中信美術奨励基金 第 37 回京都美術文化賞受賞記念展（京都文化博物館） 令和 7 年 1 月 17 日～1 月 26 日

4. 田辺市立美術館協議会・田辺市立美術館作品選定委員会

田辺市立美術館では、博物館法第23条（令和5年4月1日改正）及び田辺市立美術館条例第8条並びに田辺市立美術館協議会規則の規定に基づき、美術館の運営に関し美術館長の諮問に応じるとともに、館長に対して意見を述べる機関として、田辺市立美術館協議会を設置している。

また、田辺市立美術館作品選定委員会規則の規定に基づき、美術館において収集する美術作品等の選定に関する事項を審議し、館長に対して意見を述べる機関として、田辺市立美術館作品選定委員会を設置している。

○田辺市立美術館協議会委員名簿

任期 令和5年8月1日～令和7年7月31日 (五十音順)

氏 名	備 考
井上 芳子	和歌山県立近代美術館 学芸課長
榎本 長治	会社社長、和歌山県立近代美術館協議会 会長
小山 雄希智	会社社長、田辺市社会教育委員
佐武 利嘉子	田辺市立中芳養中学校 校長
竹中 康彦	和歌山県立博物館 副主査
橋爪 節也	大阪大学 名誉教授
浜田 拓志	(独)国立文化財機構文化財防災センター 客員研究員
前田 八重	元中辺路町教育委員
松上 京子	田辺市議会議員
三木 哲夫	兵庫陶芸美術館 名誉館長
脇村 富士夫	(公財)脇村奨学会 業務執行理事

○田辺市立美術館作品選定委員会委員名簿

任期 令和5年8月1日～令和7年7月31日 (五十音順)

氏 名	備 考
井上 芳子	和歌山県立近代美術館 学芸課長
榎本 長治	会社社長、和歌山県立近代美術館協議会 会長
橋爪 節也	大阪大学 名誉教授
三木 哲夫	兵庫陶芸美術館 名誉館長

5. 施設概要

○田辺市立美術館

所在地	田辺市たきない町 3571 番地の 6 TEL. 0739-24-3770
館長名	千品 繁俊
職員数	職員 12 名
延床面積	1,580.93 m ²
敷地面積	5,339.76 m ²
構造	鉄骨造 1 階建（一部ピロティー）
開館年月日	平成 8 年 11 月 1 日
施設内容	展示室 5 室、収蔵庫 2 室、研修室、事務室、エントランスホール （ロビー・サロン・図書コーナー）他

○田辺市立美術館分館 熊野古道なかへち美術館

所在地	田辺市中辺路町近露 891 番地 TEL. 0739-65-0390
館長名	千品 繁俊（本館と兼務）
職員数	職員 2 名（本館と兼務）
延床面積	738.24 m ²
敷地面積	4,567.48 m ²
構造	鉄筋コンクリート造 1 階建
開館年月日	平成 10 年 10 月 10 日
施設内容	展示室 1 室、保管庫 1 室、交流スペース、事務室、ロビー他

※開館時間及び観覧料

開館時間	午前 10 時～午後 5 時（入館は午後 4 時 30 分まで）
休館日	毎週月曜日（祝休日は開館し、その翌日が休館日） 年末年始（12 月 28 日から 1 月 4 日） その他、展示替え等の期間は休館
観覧料	館蔵品展・小企画展：260 円（200 円）（ ）は、20 人以上の団体料金 特別展：その都度定める 18 歳未満及び学生の方は無料。その他減免措置あり